会員名:千葉中央フラワーマンション自治会
住　所:千葉市中央区東千葉2－27－15
6階建　、総戸数 55戸、竣工:1994年10月(平成6年)　築24年

希望するアドバイス内容:
当マンションは、2年前に樹木診断を受け植栽管理の改善活動をしてきたが、今回は雑草地を花壇や家庭菜園として利用する方法についてのアドバイスを受けたい。

↓　　ご参照　[2017年11月の樹木診断会報告]

樹木診断会の流れ:
今回のアドバイザーは、園芸協会 常務理事 岡本正夫先生にお願いし、自治会より9名の参加があり、当協議会からも役員4名が参加した。
まず、集会室にて要望事項を伺い質疑応答の後、現場を見て直接のアドバイスを受け、再度、集会室にてアドバイス内容や今後のアクションについてまとめていただいた。

集会所での説明・質疑応答

← 参考になる資料としていただいた。

問合先_Email:c.ryokkasuisin@gmail.com

現場の確認、アドバイス

主なアドバイス事項:

1. 花壇に向くか向かないか判断する必要がある。

日照があり風通しがよい場所が向いている。

多くの草花は1年で枯れるので、宿根草などの利用も検討された方がよい。
花壇と草地の境目には、仕切り板を埋め込むなどした方がよい。
スギナとかドクダミとかの根はこまめに駆除すること。

2. 防草シートを利用する方法について

防草シート

1)除草剤を撒き、1週間程度の後、表面の雑草を取り除く。
・除草剤は自然分解する。
・葉緑素がないと作用しないので樹木の近くに撒いても樹木に影響は与えない。
2)少し整地する。
3)防草シートを敷き、その上にプランターを作成する。
・防草シートは、浸透性があり枠だけを作成しプランター化する方法もおすすめ。
・木や丸太でプランターのように枠を作り土を入れ花壇化。(高さは土の深さ+5cm程度)
人が歩くところは人口芝がおすすめ。
木枠で作る場合は、30cm幅の板は高額なので15cm幅と20cm幅など組み合わせるとよい。
(土の深さ:野菜は30cm、花は20cmが目安)

ご参考　防草シートの敷き方　　防草シート比較・値段

3. 樹木のまわりの扱いについて

樹木の近くは草花は向かないが、アガパンサスのようなものは植えることが可能(20cm程度の深さ)
防草シートは、樹木の周りも覆うようにする。　　ご参考　アガパンサス

4. 土のアルカリ度について

・花壇化には、土のアルカリ度を確認する必要あり。
Ph6.5～7ぐらいなら　草花は育つ。ツツジはPh4程度がよい。
・アルカリ性が強い場合は「ピートモス」で、酸性が強い場合は「苦土石灰」で中性化する。
ピートモス　　苦土石灰

5. 家庭菜園

無農薬でやると「うどん粉病」などがでて花壇にも影響がでることがある。
(ジャガイモ、ブロッコリー　夏野菜)がおすすめ。　　ご参考　うどん粉病

今後の対応:

・今回いただいたアドバイスを元に自治会にて案を作成して、当協議会経由でアドバイザーに見ていただき、次のステップに進める。

以上

問合先_Email:c.ryokkasuisin@gmail.com